

VC881

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VC881 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告なく改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品を使用する前に、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従って正しく運用してください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2020 年 12 月 16 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告なく改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システムなどにおける可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューターなど、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダーの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失などの損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付随的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、全てを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故などによるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズムなどの予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社までご連絡ください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキットなどのアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承りません。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合などにより修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社ウェブページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社ウェブページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境などによってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社ウェブサイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューターなど、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダーの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダーなどとの組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC に関する情報.....	vii
RoHS.....	vii
安全にお使いいただくために	viii
全般	viii
ラックマウント	x
同梱品.....	xi
本マニュアルについて.....	xii
マニュアル表記について.....	xiii
第1章 はじめに.....	1
概要.....	1
特長.....	1
システム要件.....	2
デバイス	2
ケーブル	2
第2章 セットアップ方法.....	3
製品各部名称	3
フロントパネル	3
リアパネル.....	3
サイドパネル.....	3
セットアップ	6
第3章 操作方法.....	9
ファームウェアのアップグレード.....	9
付録.....	10
製品仕様.....	10

EMC に関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計し、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護方法を提供します。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こすこともあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 の規定に準拠します。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1)本製品による有害な干渉を発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良をした場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告:本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品パッケージに入っている全てのドキュメントに目を通してください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社ウェブサイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブルなど)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近くや熱源の上で使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用や製品の過熱防止のために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載したタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 故障を避けるために、全ての装置を適切に接地してください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に引き抜かないでください。使用する国や地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。

- 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
- 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置する場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定して使用する前提で設計しているため、通常の動作中には製品本体を動かさないでください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定し床に接しているか、また、ラック全体が安定した場所に置かれているかを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取りつけるか、結合した複数のラックにフロントスタビライザーを取りつけてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取りつけてください。
- ◆ 製品本体の拡張前に、ラックが水平で安定しているかを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントした機器は、電源タップも含め、全て正しく接地してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックの設置場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置した機器の動作中に、この機器を踏んだり、この上により登ったりしないでください。

同梱品

VC881 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ VC881 4K 対応 HDMI/DVI→HDMI コンバーター (オーディオデエンベディング機能搭載)
×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合は購入元までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

-
- * 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社ウェブサイトアクセスしてご確認ください。
-

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VC881 に関する情報や、取り付け・セットアップ・操作の各方法について説明します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:VC881 を紹介します。機能概要、特長および導入のメリットについて説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ:製品各部名称、および VC881 を手早く、かつ安全にセットアップする方法について順を追って説明します。

第3章 操作方法:VC881 のファームウェアをアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。


マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば、[Enter]は Enter キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記します。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えば「スタート」 > 「実行」は、「スタート」メニューを開いて、「実行」を選択します。

 重要な情報です。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名などは、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

VC881 は、HDMI ビデオから、アナログまたはデジタルオーディオに抽出できる 4K HDMI/DVI→HDMIコンバーターです。これにより、S/PDIF、同軸、またはステレオオーディオ形式で高品質のオーディオを柔軟に出力できます。また、VC881 は ARC (Audio Return Channel) に対応しているため、ARC 対応機器を組み合わせるとオーディオ出力システムを簡単にセットアップできます。VC881 のコンパクトな筐体とオーディオのディエンベデッド機能により、飲食店、サインージュシステム、ホームシアターの環境に最適です。

特長

- ◆ プッシュボタンによる簡単なモード選択
 - HDMI→HDMI 変換
 - DVI→HDMI 変換
 - ARC (Audio Return Channel) 機能
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 1.4 準拠
- ◆ 高解像度対応
 - HDMI: 最大 4K (3840×2160@30Hz)
 - DVI: 最大 1920×1200(RB)@60Hz
- ◆ HDMI オーディオ信号は S/PDIF、同軸、または RCA ステレオオーディオ信号に抽出・変換可能
- ◆ 電源状態を LED で表示
- ◆ ファームウェアアップグレード可能
- ◆ メタル素材の筐体

システム要件

デバイス

- ◆ HDMI ディスプレイ×1
- ◆ ソースデバイス(HDMI または DVI) ×1
- ◆ (オプション)スピーカーまたはホームシアターシステム

ケーブル

- ◆ アース線×1
- ◆ HDMI ケーブル(HDMI ソースデバイスと VC881 の接続用) ×1
- ◆ (オプション)DVI ケーブル(DVI ソースデバイスと VC881 の接続用) ×1
- ◆ オーディオケーブル(DVI ソースデバイスと VC881 の接続用) ×1
- ◆ HDMI ケーブル(HDMI ディスプレイと VC881 の接続用) ×1
- ◆ (オプション)オーディオケーブル(個々のスピーカーまたはホームシアターシステムとの接続用)

第2章 セットアップ方法

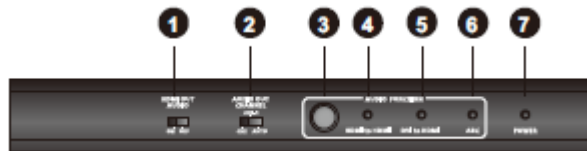


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.viii に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する全ての装置の電源をオフにしてください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

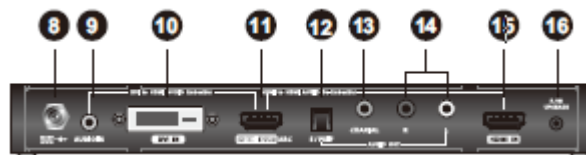
製品各部名称

VC881 製品本体の各部分に関する詳細は、下図と次のページの表を参照してください。

フロントパネル



リアパネル



サイドパネル



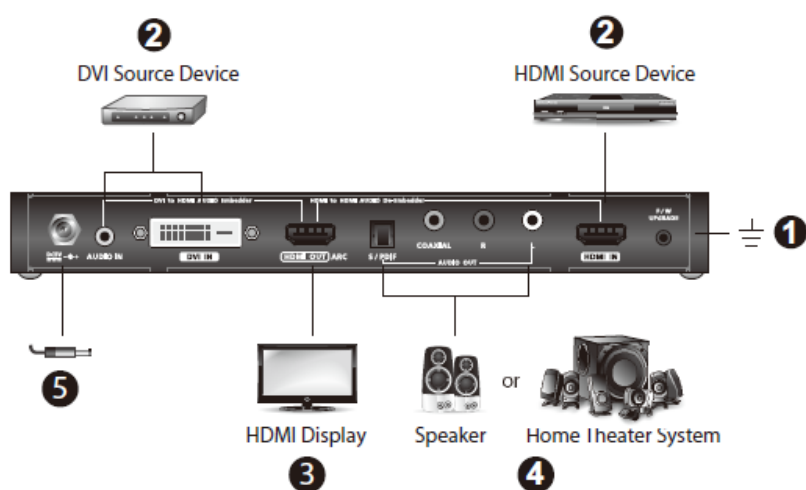
No.	名称	説明
1	HDMI オーディオ出力スイッチ	VC881 に接続した HDMI 出力のオーディオを有効または無効にします。
2	オーディオ出力チャンネルスイッチ	HDMI 出力のオーディオを 2ch 、 5.1ch 、 AUTO (自動)から選択します。
3	オーディオ機能/ ファームウェア アップグレードボタン	<p>◆ VC881 のオーディオ処理モードを選択します。このモードは次のオプションから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ HDMI to HDMI: HDMI 入力からの音声ディエンベドにて使用します。 ➤ DVI to HDMI: DVI ソースと入力音声をエンベドし、HDMI 出力ポートへ変換します。 ➤ ARC: ARC 対応ディスプレイからの HDMI 音声信号をソース機器側に送信します。 <p>◆ VC881 のファームウェアアップグレード時に使用します。詳細については、p.9「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。</p>
4	HDMI to HDMI LED	「 HDMI to HDMI 」選択時に点灯します。
5	DVI to HDMI LED	「 DVI to HDMI 」選択時に点灯します。
6	ARC LED	ARC 選択時に点灯します。
7	電源 LED	VC881 製品本体が給電されていると、点灯します。
8	電源ジャック	VC881 製品本体に電源を供給する電源アダプターを接続します。
9	オーディオ入力	オーディオケーブルを接続して、DVI 映像に重畳させたいオーディオ信号を接続します。
10	DVI 入力	DVI ケーブルを接続して、DVI ソースデバイスのビデオ信号を VC881 製品本体に入力します。
11	HDMI 出力	HDMI ケーブルを接続し、HDMI ディスプレイに対して HDMI 信号を出力します。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
12	オーディオ出力 (S/PDIF)	S/PDIF オーディオケーブルを接続して、スピーカーやアンプに接続します。
13	オーディオ出力 (同軸)	同軸オーディオケーブルを接続して、スピーカーやアンプに接続します。
14	オーディオ出力 (ステレオ)	ステレオオーディオケーブルを接続して、スピーカーやアンプに接続します。
15	HDMI 入力	HDMI ケーブルを接続して、HDMI ソースからの信号を入力します。
16	ファームウェア アップグレードポート	製品本体のファームウェアアップグレードに使用するケーブルを接続します。詳細については、p.9「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
17	グラウンドターミナル	アース線を接続します。

セットアップ

セットアップの前に、VC881 に接続する全ての機器の電源をオフにしてください。準備が整ったら、下記の手順に従って、製品を安全な方法でセットアップしてください。



1. アース線の片方の端を VC881 のグランドターミナルに、もう片方の端子を適切な設置物にそれぞれ接続して接地してください。

注意： この手順は省略しないでください。適切なアース接続は、電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. VC881 に対して、ソースデバイス (HDMI や DVI) を接続してください。
 - ◆ HDMI 出力のソース機器と VC881 の HDMI 入力ポートを接続する時は両端が HDMI コネクタのケーブルで接続してください。
 - ◆ DVI 出力の機器と VC881 の DVI 入力を接続する場合は、片方が HDMI、もう片方が DVI コネクタのケーブルで接続してください。DVI 映像から重畳する場合は、オーディオケーブルで機器と VC881 を接続してください。
3. HDMI ケーブルで HDMI ディスプレイを VC881 に接続してください。
4. (オプション) ARC 機能を使用する場合は、下記のいずれかの作業を行ってください。
 - ◆ お使いの HDMI ディスプレイと HDMI アンプの両方が ARC 互換である場合は、ARC 対応 HDMI ケーブルで HDMI アンプと VC881、HDMI ディスプレイをそれぞれ接続してくだ

さい。

- ◆ サウンドシステムが ARC 非対応の場合、HDMI ディスプレイからの音声は別途サウンドシステムに接続し、ソース機器からの映像は VC881 と接続してから、HDMI ディスプレイに接続してください。

5. 製品同梱の電源アダプターをコンセントに接続したら、VC881 の電源を入れます。VC881 の電源 LED がグリーンに点灯します。
6. 全ての機器に電源を入れてください。
7. お使いの機器構成に応じて、下表を参考にしながら VC881 のオーディオを設定してください。

機器構成	必要な設定		
	HDMI オーディオ出力切替	オーディオ出力チャンネル切替	オーディオ機能
HDMI ソースを HDMI ビデオと HDMI オーディオとして、接続ディスプレイに出力	オン	AUTO	HDMI to HDMI
HDMI ソースを HDMI ビデオとして、接続ディスプレイに出力 (オーディオなし)	オフ	N/A	HDMI to HDMI
HDMI ソースを HDMI ビデオとして出力。オーディオはスピーカーに出力	オフ	CH2	HDMI to HDMI
HDMI ソースを HDMI ビデオとして出力。オーディオはホームシアターシステムに出力	オフ	CH5.1	HDMI to HDMI
DVI ソースを HDMI ビデオと HDMI オーディオとして接続ディスプレイに出力	オン	AUTO	DVI to HDMI

(表は次のページに続きます)

機器構成	必要な設定		
	HDMI オーディオ 出力切替	オーディオ出力 チャンネル切替	オーディオ 機能
HDMIソースをHDMIビデオとして接続ディスプレイに出力。また、HDMI オーディオは個々のスピーカーまたはホームシアターシステムに出力 注意: ARC 互換のディスプレイをお使いください。	N/A	N/A	ARC

第3章 操作方法

ファームウェアのアップグレード

1. VC881 のファームウェアの最新版を、弊社ウェブサイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)からダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。

2. ファームウェアアップグレードケーブルを使って、VC881 のファームウェアアップグレードポートに、ファームウェアパッケージのダウンロードに使用したコンピューターを接続してください。

注意: ファームウェアアップグレードケーブルは製品パッケージに同梱されていません。
詳細については、弊社販売代理店までお問い合わせください。

3. VC881 の電源をオフにしてください。
4. VC881 本体のフロントパネルにあるオーディオ機能/ファームウェアアップグレードボタンを押したままにします。
5. VC881 に電源を入れて、全てのパネル LED が点滅し始めたら、オーディオ機能/ファームウェアアップグレードボタンから指を離してください。これで、VC881 はファームウェアアップグレードモードになります。
6. ファームウェアアップグレードファイルを実行して、画面内の指示に従って操作し、アップグレード作業を最後まで進めてください。

付録

製品仕様

ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×1 (Black) DVI-D メス×1 (White)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	HDMI: 3m DVI: 1.8m
ビデオ出力	
インターフェース	ARC 対応 HDMI Type-A メス×1 (Black)
インピーダンス	100 Ω
最大距離	3m
解像度	
最大データ伝送速度	10.2 Gbps
最大ピクセルクロック	340 MHz
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color) HDCP 1.4 準拠
最大解像度	HDMI: 3840×2160@30Hz DVI: 1920×1200
オーディオ	
出力	光オーディオ: Toslink×1 (Black) 同軸オーディオ: RCA メス×1 (Orange) ステレオオーディオ: RCA メス×2 (White / Red)
入力	ステレオオーディオ: ステレオミニジャック×1 (Green)

スイッチ	
モード選択	スライドスイッチ×1:HDMI オーディオ出力 - ON/OFF スライドスイッチ×1:オーディオ出力チャンネル - AUTO/CH 5.1/CH 2 プッシュボタン×1:オーディオ機能選択 1. HDMI→HDMI 2. DVI→HDMI 3. ARC (Audio Return Channel)
コネクタ	
電源	ロック式 DC 電源ジャック×1
ファームウェア アップグレード	ステレオミニジャック×1
電源仕様	
電源アダプター	入力:AC100～240V 50/60Hz 出力:DC5V、2.6A アダプター型番はサポート&ダウンロードの「電源アダプター対応表」ページをご覧ください。
消費電力	DC5V:1.767W:8BTU/h 注意: ・ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合の装置の標準的な消費電力を示します。 ・BTU/h 単位での測定値は、デバイスに完全に負荷がかかった状態の消費電力を示します。
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.47 kg (1.04 lb)
サイズ(W×D×H)	202×85×25 mm
同梱品	電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1